



RaQualia
innovators for life

決算説明会 2025年12月期（第18期） 第3四半期

2025年11月 東証 グロース：4579

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また、本資料内の免責事項を必ずご参照ください。



- ◆ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ◆ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品（研究開発プログラムおよび化合物）に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題等が含まれますが、これらに限定されるものではありません。



■ ビジネスハイライト	…	4
■ 第3四半期業績	…	6
■ 上市製品・研究開発パイプラインの状況	…	12
■ HK inno.N社との資本業務提携	…	25
■ テムリックの吸収合併	…	27
■ 資金の状況と配分	…	29
■ 今後のカタリスト	…	31

ビジネスハイライト

innovators for life



連結経営成績

事業収益2,311百万円（前年同期比2.5%減）

- 営業損失 344百万円、経常損失 426百万円、四半期純損失 568百万円、EBITDA 9百万円

上市品の状況

テゴプラザンのグローバル展開は引き続き順調に進展

- HK inno.N Corporation（HK inno.N社）による韓国での販売は好調に推移
- 韓国における特許係争第二審において全件勝訴
- 世界18カ国で販売中。その他世界36カ国で開発・承認申請・発売準備中
 - 当第3四半期においてインドで製品販売開始
- 米国で実施中の第III相臨床試験において良好な試験結果

ペット用医薬品のロイヤルティ収益も順調に推移

- GALLIPRANT®/ENTYCE™/ELURA™：前四半期に引き続き順調な売上推移

パイプラインの状況

P2X7受容体拮抗薬についてLilly社が疼痛を標的疾患とした臨床開発を中止（※2025年10月31日発表）

- 今後の開発プランはLilly社が検討中

導出活動

テゴプラザン（日本）ほかの導出準備プログラムについて導出活動中

- テゴプラザン（日本）については2025年12月期の成約を目指して交渉中

資本業務提携

HK inno.N社との資本業務提携

- 共同研究開始に向けた協議等、本提携に基づく取り組みを実施

子会社

テムリック

- ラクオリア創薬への吸収合併を発表（効力発生日：2026年1月1日）（※2025年10月17日発表）

ファイメクス

- アステラス製薬株式会社との共同研究のほか新規の提携先獲得にむけて活動中



RaQualia
innovators for life

第 3 四半期 業績

innovators for life



単位：百万円

	2024年12月期 第3四半期 (1-9月)	2025年12月期 第3四半期 (1-9月)	前年同期比 増減率
事業収益	2,369	2,311	△2.5%
営業利益	△27	△344	-
経常利益	△231	△426	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△339	△568	-
EBITDA¹⁾	251	9	△96.6%

1) EBITDA: 利払・税引・減価償却前利益



通期計画 3,888百万円に対し、当第3四半期末時点で 2,311百万円を計上

通期計画進捗率

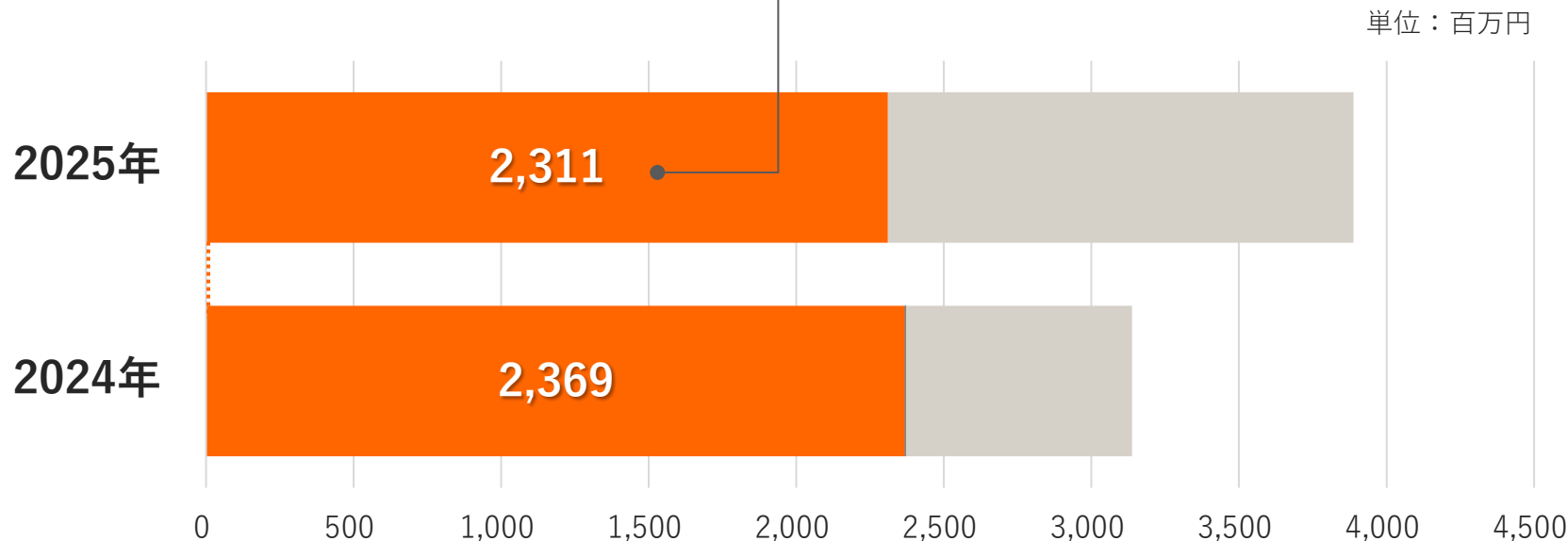
59.4%

内訳)

ロイヤルティ	1,703百万円
その他	607百万円
(契約一時金・マイルストーン・研究協力金を含む)	

前年同期比

+14.1%
△30.7%



単位：百万円

通期

計画 3,888 百万円

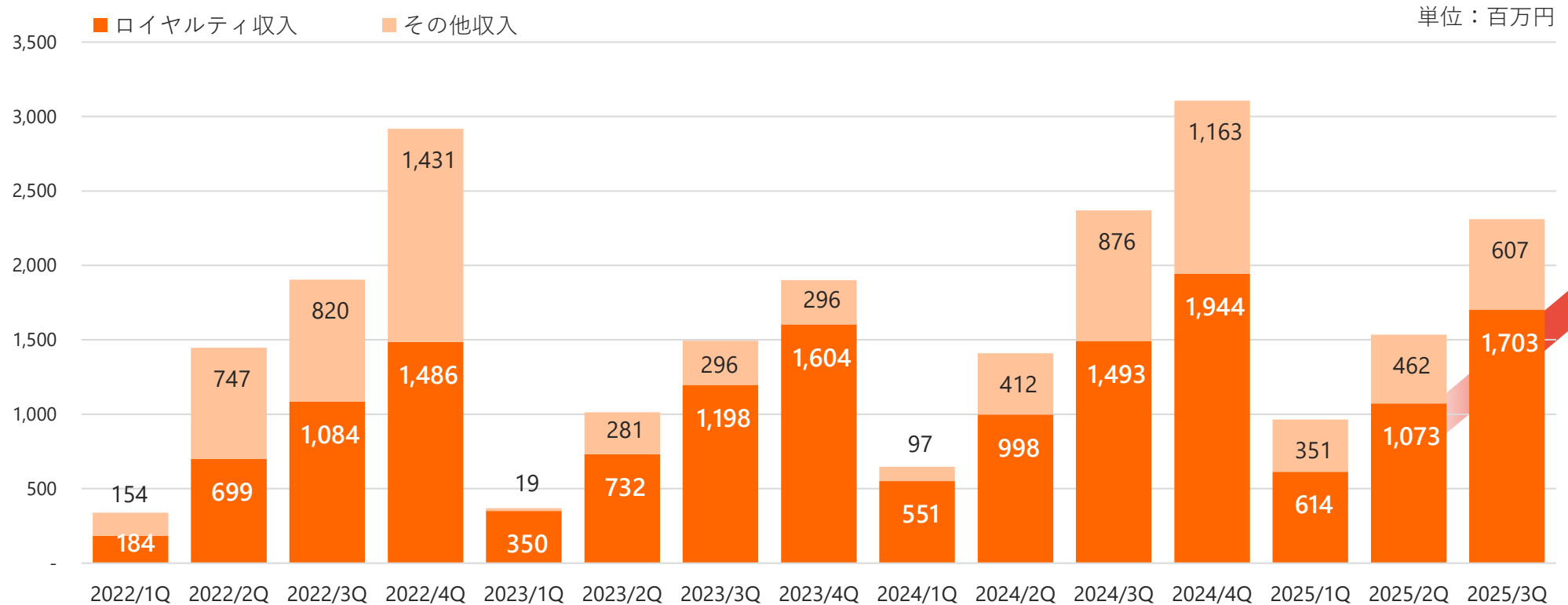
実績 3,107 百万円



通期業績目標の達成に向けて

順調な伸びを見せるロイヤルティ収入は2024年12月期実績の1,944百万円を超える見込み
その下支えの上にその他収入を積み上げ通期目標の達成を目指す

ロイヤルティ収入・その他収入の推移





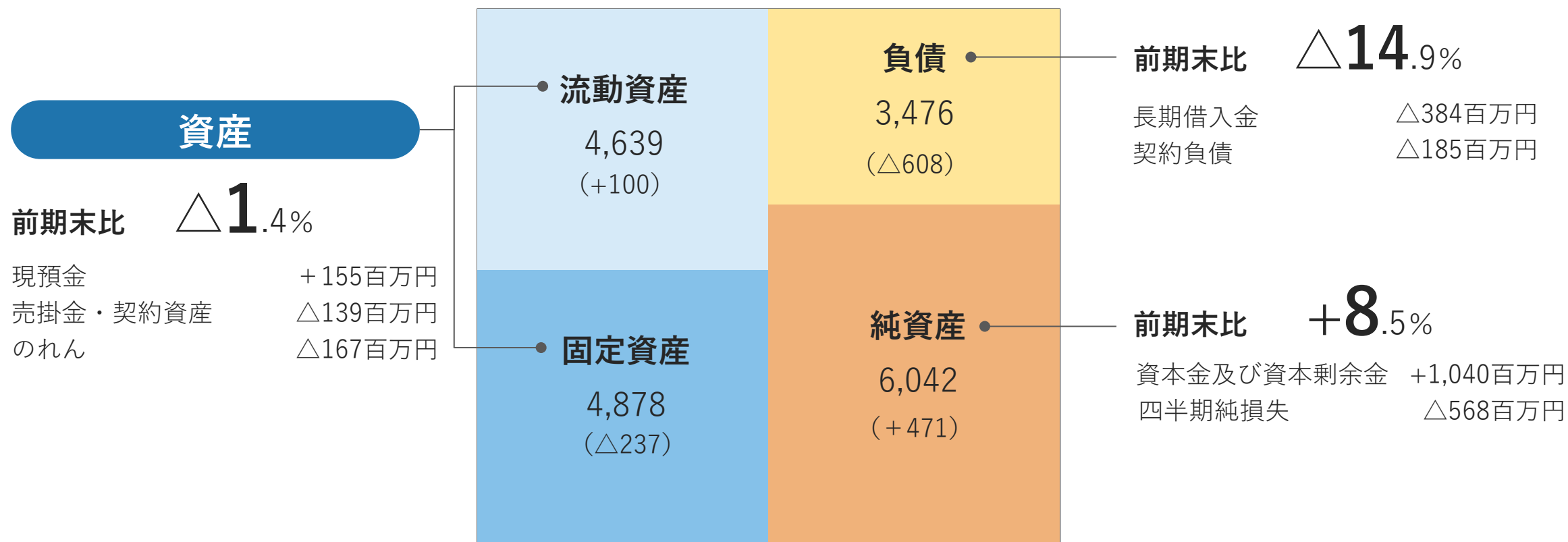
連結貸借対照表

負債の減少および純資産の増加に伴い

自己資本比率 **63.0%** (前期末比 5.6ポイント増)

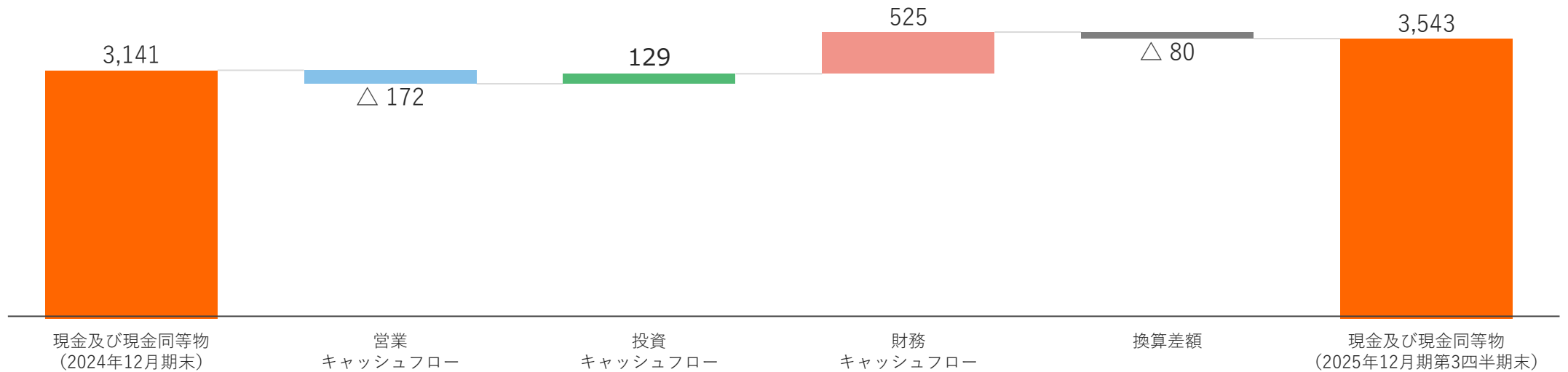
連結貸借対照表 (対前期末比較)

単位：百万円





現金および現金同等物は前期末比401百万円増加（12.8%増）



営業キャッシュフロー

のれん償却額	207百万円
減価償却費	150百万円
売上債権の減少	139百万円

投資キャッシュフロー

定期預金の払戻	400百万円
---------	--------

財務キャッシュフロー

株式発行による収入	1,018百万円
-----------	----------

主な増加要因

税金等調整前四半期純損失	426百万円	定期預金の預入	200百万円	長期借入の返済	384百万円
前払費用の増加	40百万円	有形固定資産の取得	63百万円	子会社株式の取得	50百万円
契約負債の減少	185百万円			リース債務の返済	56百万円

主な減少要因



RaQualia
innovators for life

上市製品・ 研究開発パイプラインの状況

innovators for life



種別	一般名・作用機序	適応症	主な製品名・販売元
 ヒト用	テゴプラザン カリウムイオン競合型 アシッドブロッカー (P-CAB)	<ul style="list-style-type: none"> 胃食道逆流症 胃潰瘍 十二指腸潰瘍 ほか	K-CAB® (韓国) HK inno.N Corporation (「HK inno.N社」) <small>タイシンザン</small> 泰欣赞® (中国) Shandong Luoxin Pharmaceutical Group Stock Co., Ltd. ほか
  ペット用	グラピプラント EP4拮抗薬	<ul style="list-style-type: none"> 犬の慢性骨関節炎 	GALLIPRANT® (日米欧ほか) Elanco Animal Health Inc. (「Elanco社」)
	カプロモレリン グレリン受容体 作動薬	<ul style="list-style-type: none"> 犬の食欲不振 	ENTYCE™ (米国) Elanco社
		<ul style="list-style-type: none"> 猫の体重減少管理¹⁾ 	ELURA™ (米国) Elanco社 Eluracat™ (欧州)、エルーラ™ (日本)

1) 適応症は国・地域によって異なり、米国では「慢性腎疾患またはその他の慢性疾患を伴う猫の体重減少管理」となっています。



RaQualia
innovators for life

ヒト用医薬品 テゴプラザン製品概要

2025年12月期
第3四半期

カリウムイオン競合型アシッドブロッカー (P-CAB)

(2025年11月14日現在)

胃酸分泌抑制剤テゴプラザン



一般名	tegoprazan (テゴプラザン)
適応症	胃食道逆流症、消化性潰瘍、ピロリ菌除菌療法ほか
販売元	HK inno.N Corporation (韓国/HK inno.N社) Shandong Luoxin Pharmaceutical Group Stock Co., Ltd. (中国/Luoxin社) ほか
製品名	K-CAB® (韓国ほか)、泰欣赞® (中国)、Ki-CAB® (メキシコほか)、PCAB (インド)



胃酸に関わる疾患は数多い

胃食道逆流症 (GERD)、胃潰瘍、ヘリコバクター・ピロリ感染症など



既存薬 (プロトンポンプ阻害剤 (PPI)) の課題を克服

- ✓ 服用30分以内の速やかな効果
- ✓ 最長6カ月の長期服用でも有効性・安全性が持続
- ✓ 強力な胃酸分泌抑制能
- ✓ 低い薬物相互作用



世界の消化性潰瘍剤の市場は2兆円規模¹⁾

中国 4,500億円¹⁾、米国 4,000億円¹⁾、日本 2,500億円



日本を除く地域の権利をHK inno.N社に許諾

当社は開発の進捗に応じたマイルストーン/製品売上に応じたロイヤルティを受け取る



韓国・中国など18カ国²⁾で販売中

このほか36カ国に進出

¹⁾ 出所：HKイノエン社IR資料「韓国版」(2023年11月)、換算レート：1韓国ウォン=0.10円

²⁾ 韓国、中国、モンゴル、フィリピン、インドネシア、シンガポール、メキシコ、ペルー、チリ、コロンビア、ドミニカ共和国、ニカラグア、ホンジュラス、グアテマラ、エルサルバドル、パナマ、マレーシアおよびインド



RaQualia
innovators for life

韓国におけるK-CAB® の売上は引き続き好調に推移

2025年12月期
第3四半期

K-CAB® 2025年第3四半期連結累計期間の国内売上高 1,608億ウォン（約177億円）※1

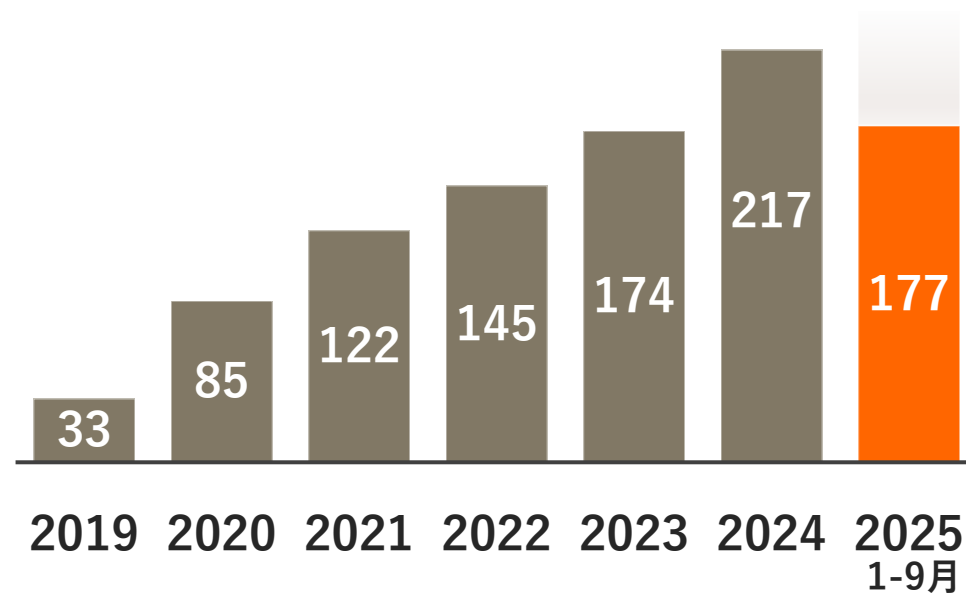
発売以来2桁成長を維持し、右肩上がりの好調な売上推移を継続中

2025年の売上高 2,000億ウォン（約220億円）突破が期待されている

韓国市場における「K-CAB®」のパフォーマンス

売上高の年次推移

(単位：億円)



前年同期比

+13.1%

市場シェア

第1位

(シェア15%)

※2024年における韓国の消化性潰瘍剤の市場規模

約1,510億円 (2019年の1.7倍)

(うちP-CABのシェア22.3%)

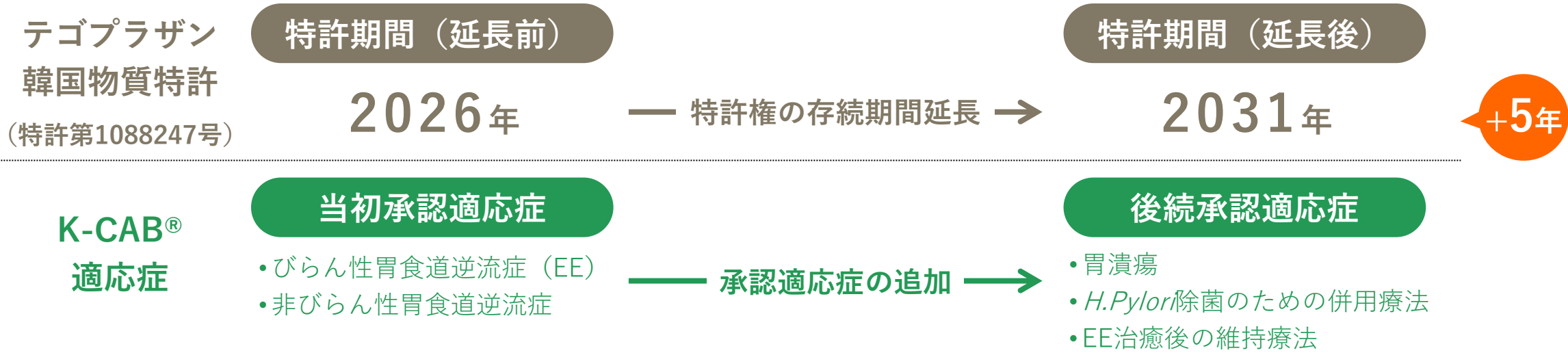
※1：院外処方実績（暫定値）
換算レート：1韓国ウォン=0.11円



韓国での特許係争第二審で全件勝訴

テゴプラザンの韓国物質特許に関する係争において第一審^{1,2)} に続き第二審¹⁾ でも全件勝訴
2031年までのK-CAB[®]の独占販売権がより強固に守られる

係争の概要および経過



後発品メーカー等が「後続承認適応症には延長された特許期間の効力は及ばない」と主張し審判請求

- 第一審 (2024年) : 韓国特許審判院は当社の主張を支持し後発品メーカー等の請求を全件棄却
- 第二審 (今回) : 審決取消訴訟においても韓国特許法院は全件について当社の主張を支持

1) 韓国における審判制度は、特許庁の特許審判院による行政審判を経て、知的財産に関する訴訟を専門に扱う司法機関である特許法院において審理されます。その判決に対しては日本の最高裁判所に相当する大法院への上告が可能です。本資料では、便宜上、特許審判院による審判を第一審、特許法院による審理を第二審としています。

2) 2024年12月期第2四半期 (中間期) 決算短信および決算説明資料



HK inno.N社がNSAID誘発性潰瘍の予防に関する第III相臨床試験を成功裡に完了



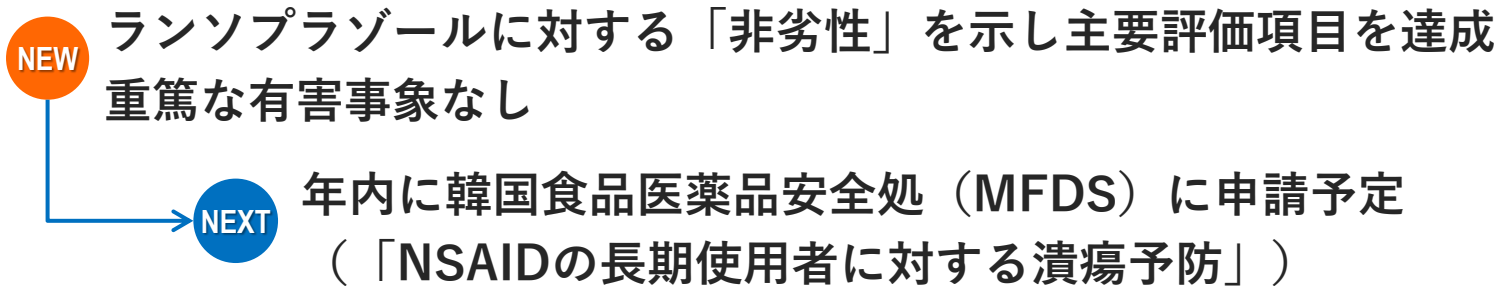
NSAID誘発性潰瘍とは

非ステロイド性抗炎症薬（NSAID）の服用が原因で胃や十二指腸の粘膜が損傷を受けてできる潰瘍
上腹部の痛み、吐き気、胸やけ、消化管出血などを伴う



第III相臨床試験の概要

- 韓国において、33施設、392名の被験者を用いて実施された無作為化・二重盲検・実薬対照試験
- NSAID長期使用者における胃潰瘍・十二指腸潰瘍の予防効果と安全性の評価（主要評価項目：24週後の潰瘍発生率）
- 対照薬：ランソプラゾール（プロトンポンプ阻害薬（PPI））



既存薬（PPI）は「再発抑制」だが、テゴプラザンは「予防」

※韓国における承認済みの適応症：びらん性胃食道逆流症（EE）、非びらん性胃食道逆流症、胃潰瘍、*H.Pylori*除菌のための併用療法、EE治癒後の維持療法



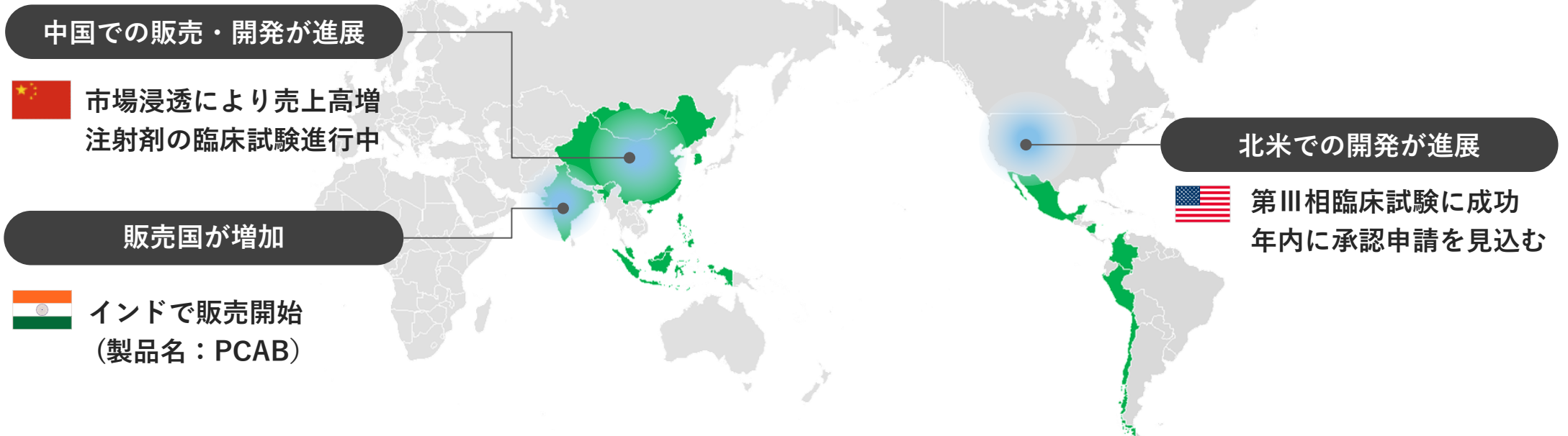
RaQualia
innovators for life

テゴプラザン・グローバル展開の状況

2025年12月期
第3四半期

(2025年11月14日現在)

54カ国に進出し販売国も18カ国まで増加。2030年に全世界の年間売上高3,000億円超を目指す



その他の主要な国・地域における販売・開発状況

P3試験実施中・申請準備中	米国、カナダ、ブラジル、南アフリカ・東欧等6カ国、 中東・北アフリカ地域
承認審査中	ベトナム、中南米5カ国
承認済・発売準備中	タイ、パラグアイ、エクアドル

順調なグローバル展開を背景に 日本と欧州の導出と臨床開発着手を目指す



第III相臨床試験（TRIUMpH試験）の概要

- Sebela Pharmaceuticals社（セベラ社）の一部門であるBraintree Laboratories（ブレインツリー社）が実施
- びらん性胃食道逆流症（EE）および非びらん性胃食道逆流症（NERD）を対象としたピボタル試験
- 対照薬：ランソプラゾール（プロトンポンプ阻害薬（PPI））・プラセボ

TRIUMpH試験の有効性評価項目（出所：clinicaltrials.gov (<https://clinicaltrials.gov/>））

	びらん性胃食道逆流症（EE）（n=1,250）	非びらん性胃食道逆流症（NERD）（n=800）
主要評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 8週目までに完全治癒した患者の割合（非劣性） ● 24週目まで完全治癒を維持した患者の割合（非劣性） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 24時間胸焼けのない日の割合（4週目）
副次評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 24時間胸やけのない日の割合（非劣性） ● 8週目までに完全治癒したLAグレードCまたはDの患者の割合（優越性） ● 2週目までに完全治癒したLAグレードCまたはDの患者の割合（優越性） ● 8週目までに完全治癒した全ての患者の割合（優越性） ● 2週目までに完全治癒した全ての患者の割合（優越性） ● 24時間胸焼けのない日の割合（24週目）（非劣性） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 胸やけおよび胃酸逆流が完全に消失した患者の割合（4週目）

NEW

EEとNERDの両方において、全ての主要評価項目および副次的評価項目を達成
安全性および忍容性はプラセボ・ランソプラゾールと同程度（血清ガストリン値も正常範囲内）



NEXT

年内に米国食品医薬品局（FDA）に申請予定



テゴプラザンが胃食道逆流症の画期的な治療選択肢となる可能性が大規模臨床試験の結果で示された

市場環境

- 世界の消化性潰瘍剤の市場規模は2兆円以上（中国 4,500億円、米国 4,000億円、日本 2,500億円）
- 胃食道逆流症の第一選択薬はPPI
- 米国ではPPIで症状が完全に緩和されない患者さんが約4割 (Chey WD, Mody RR, Izat E. Dig Dis Sci. 2010)

胃食道逆流症で苦しむ患者さんのアンメットニーズに応える結果

びらん性胃食道逆流症（EE）

非びらん性胃食道逆流症（NERD）

びらん・胸やけの完全治癒

寛解状態の維持

胸やけ・胃酸逆流の完全消失

PPIを上回る

PPIと同等または上回る

プラセボに比べて改善

“P-CABがPPIを凌駕する可能性を示しており、テゴプラザンが他の薬剤よりも優れている可能性を示唆”

“最も重症な分類においてさえも、テゴプラザンが持続的な臨床効果を持つことを示している”

“私たちは通常、胸やけの解消についてのみ議論する。これまでは、テゴプラザンのように胃酸逆流の減少を証明できたものがなかったため”

Felice Schnoll-Sussman, MD
米・ワイルコーネル大医大教授

Prakash Gyawali, MD
米・ワシントン大医学部教授

Prateek Sharma, MD
米・カンザス大医学部教授

PPI/プラセボと同程度に安全

TRIUMp試験

出所：2025年4月24日発表「胃酸分泌抑制剤tegoprazanの米国における第III相臨床試験（TRIUMpH試験）の良好なトップライン結果を発表」
2025年8月8日発表「胃酸分泌抑制剤tegoprazan、米国における第III相臨床試験（TRIUMpH試験）で良好な結果を取得し試験を完了」



RaQualia
innovators for life

ペット用医薬品 上市3製品

2025年12月期
第3四半期

既販売国での順調な売上げ推移に加え、新たな国・地域での承認・販売が進行中



EP4拮抗薬

GALLIPRANT®

- 日米欧ほかで販売中
- 2021年にブロックバスター製品¹⁾に成長²⁾

一般名	grapiprant (グラピプラント)
適応症	犬の慢性骨関節炎
販売元	Elanco Animal Health, Inc. (米国/Elanco社)



グレリン受容体作動薬

ENTYCE™

米国で販売中

ELURA™

米国・欧州・日本で販売中

一般名	capromorelin (カプロモレリン)
適応症	犬の食欲不振 (ENTYCE™) 慢性腎疾患またはその他の慢性疾患を伴う猫の体重減少管理 ³⁾ (ELURA™) ほか
販売元	Elanco社

1) ここでは年間売上高が100億円を超える規模の製品のことをブロックバスターと称しています; 2) Elanco社 2021年度決算発表 (2022年2月24日); 3) 適応症は国・地域によって異なります。



(2025年11月14日現在)

NEW トピックス

● P2X7受容体拮抗薬 (2025年10月31日発表)

- 2025年10月30日（現地時間）
Eli Lilly and Company（「Lilly社」）の
パイプライン更新
- 標的疾患を疼痛（Pain）として
開発されていた本化合物は
パイプラインから除外
- 旭化成ファーマ社とLilly社との
ライセンス契約は現在も有効に存続
- 今後の開発プランはLilly社が検討中

導出済み

導出準備



注1) 前臨床段階以降にあるプログラムについて標的疾患ごとにわけて表示しています。

注2) 国・地域によって開発段階に差がある場合は、最も進んだ段階を表示しています。

詳細につきましては当社ウェブサイト (<https://www.raqualia.com/ja/index.html>) の「パイプライン」にてご確認ください。



導出プログラム | P2X7受容体拮抗薬の概要と開発状況①

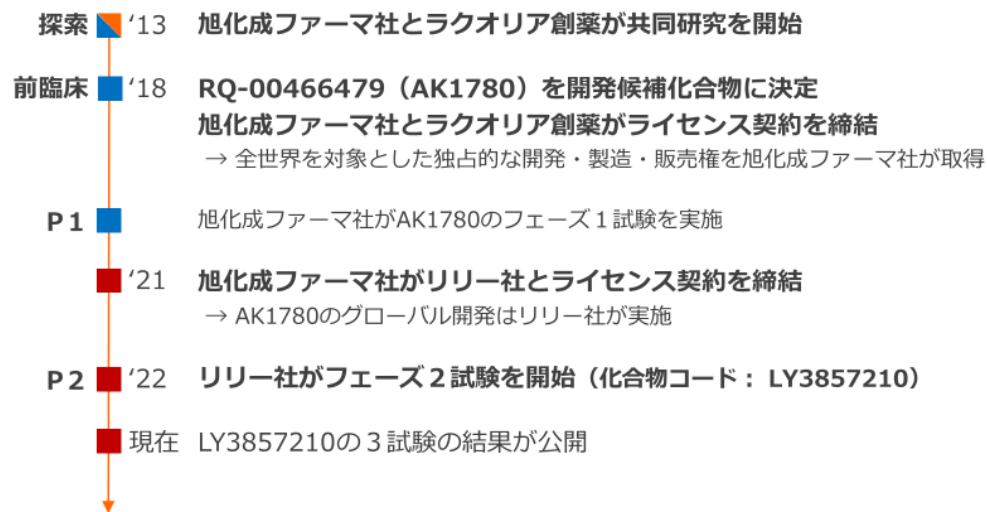
決算説明会

2024年12月期 第2四半期

P2X7受容体拮抗薬 RQ-00466479/AK1780/LY3857210

特長	P2X7受容体に対する強い拮抗作用と中枢移行性を示し、経口投与が可能な新規化合物
導出先	当社の導出先である旭化成ファーマ株式会社 (旭化成ファーマ社) からEli Lilly and Company (リリー社) へサブライセンス
ステージ	フェーズ2 試験段階 (米国)

本プログラムの開発経緯



現在の状況

- リリー社が米国で実施した3つの疾患に関するLY3857210のフェーズ2 試験終了
 - 変形性関節症による膝の痛み
 - 慢性腰痛症
 - 糖尿病性神経障害性疼痛
- 臨床試験結果がClinicalTrials.govで公開済
 - 有効性: 主要評価項目未達 (プラセボに対する優位性認められず)
 - 安全性: 大きな問題なく良好
- 現在リリー社はLY3857210に関する今後の開発計画を検討中



導出プログラム | P2X7受容体拮抗薬の概要と開発状況②

決算説明会

2024年12月期 第2四半期

P2X7受容体拮抗薬 RQ-00466479/AK1780/LY3857210

Eli Lilly and Company (リリー社) によるフェーズ2試験※

- 慢性疼痛の治療法開発のためのChronic Pain Master Protocol (CPMP) の一部として実施
- 痛みの緩和と安全性の評価を目的に対象疾患の異なる3つの試験を実施
- 試験デザイン：二重盲検無作為化、プラセボ対照

主要評価項目 (8週時点における痛みの強さレベルのベースラインからの変化量)

データ：変化量の平均値 (95%信用区間)

試験ID	対象疾患	45 mg LY3857210	Placebo
NCT05620563	変形性関節症による膝の痛み	-1.13 (-1.47 to -0.80)	-1.43 (-1.90 to -0.96)
NCT05630196	慢性腰痛症	-1.24 (-1.54 to -0.89)	-1.63 (-2.14 to -1.13)
NCT05620576	糖尿病性神経障害性疼痛	-1.70 (-2.11 to -1.30)	-1.81 (-2.40 to -1.21)

重篤な有害事象

- 変形性関節症による膝の痛み (NCT05620563)：重篤な有害事象なし
- 慢性腰痛症 (NCT05630196)：3件登録あり。薬剤との関連性について精査中
- 糖尿病性神経障害性疼痛 (NCT05620576)：2件登録あり。薬剤との関連性について精査中

※ClinicalTrials.gov (<https://clinicaltrials.gov/>) における公開情報に基づく



RaQualia
innovators for life

HK inno.N社との 資本業務提携

innovators for life



資本業務提携の取り組みは順調に進行

当第3四半期においても引き続き、HK inno.N社と共同研究開始に向けた協議等、本提携に基づく取り組みが進行中

資本業務提携の概要

資本業務提携の目的	1. 資金調達による財務基盤の強化 2. 割当先との連携による研究開発ほかの分野での相乗効果
発行決議日	2025年3月21日（金）
払込期日	2025年4月18日（金）
発行新株式数	普通株式2,592,100株
発行価額	1株当たり397円（2025年3月19日終値）
調達資金の額 （差引手取概算額）	1,017,847,700円
増加する資本金及び 資本準備金の額	資本金 514,531,850円（1株につき、198.5円） 資本準備金 514,531,850円（1株につき、198.5円）
募集又は割当の方法	第三者割当の方法
業務提携の主な内容	1. テゴプラザンの日本国内での事業化に関する協力 2. 当社が保有する開発化合物の価値向上に関する協力 3. 共同研究の実施 4. その他の研究開発に関する協力



RaQualia
innovators for life

テムリックの 吸収合併

innovators for life



テムリック株式会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）

コストの削減と管理業務の簡素化及び効率化を実現することを目的として、子会社テムリックの吸収合併を決定

吸収合併の概要

合併当事者	吸収合併存続会社：ラクオリア創薬株式会社（「当社」） 吸収合併消滅会社：テムリック株式会社（「テムリック」）
契約締結日	2025年10月17日（金）
効力発生日	2026年1月1日（木）
合併の方式	当社を存続会社とする吸収合併としテムリックは解散いたします。
株式等の割当・ 対価の交付	本吸収合併に際して、株式の割当その他一切の対価の交付はございません。
資本金及び準備金	本吸収合併により、資本金の額及び準備金の額の増減はございません。
合併後の状況	本合併後、当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金および決算期に変更はありません。
業績への影響	連結グループ内の吸収合併のため、当社連結業績への影響は軽微です。

資金の状況と配分



資金の状況と配分

手元資金が微減となった点を除き、資金の状況と配分には変更無し

資金の状況

前回発表 (2025年8月14日)	今回発表 (2025年11月14日)
2025年～2027年の 事業収益見通し 111 億円	2025年～2027年の 事業収益見通し 111 億円
手元資金 (2025年第2四半期末) 42 億円	手元資金 (2025年第3四半期末) 41 億円
エクイティ調達 (新株予約権) 4.9 億円	エクイティ調達 (新株予約権) 4.9 億円
借入余力 (コミットメントライン) 5 億円	借入余力 (コミットメントライン) 5 億円



資金の配分

前回発表 (2025年8月14日)	今回発表 (2025年11月14日)	株主還元	
探索研究投資 ¹⁾ (既存領域の拡充) 63 億円 (3カ年)	探索研究投資 ¹⁾ (既存領域の拡充) 63 億円 (3カ年)		株主配当金 財務基盤強化に 応じて実施予定
前臨床・臨床開発投資 ¹⁾ (プロジェクトの価値向上) 4 億円 (3カ年)	前臨床・臨床開発投資 ¹⁾ (プロジェクトの価値向上) 4 億円 (3カ年)		自己株式の取得 機動的に検討
設備投資 (既存設備の拡充・ DX投資等)	設備投資 (既存設備の拡充・ DX投資等)		
戦略投資 (創薬技術・パイプ ラインの獲得等)	戦略投資 (創薬技術・パイプ ラインの獲得等)		

企業価値最大化に向けた投資

株主還元

1) 人件費を含みます。

今後のカタリスト



RaQualia
innovators for life

想定されるカタリスト

2025年12月期
第3四半期

プログラム	想定適応症	地域	研究開発段階	短期 (2025年)	中期 (2026-2027年)	導出先/提携先
テゴプラザン	胃食道逆流症等		フェーズ3	承認申請	承認取得 製品発売	HK inno.N社 Braintree社
			フェーズ1	導出契約締結	国内臨床試験開始	導出先企業
TRPM8遮断薬	慢性疼痛		フェーズ1	臨床試験の進展 (フェーズ1→フェーズ2)		Xgene社
グレリン受容体作動薬	便秘・悪液質	全世界	前臨床	臨床開発準備 導出活動	導出 臨床試験開始	導出先企業
IRAK-M分解誘導薬	がん (がん免疫)	全世界	前臨床	臨床開発準備 導出活動	導出 臨床試験開始	導出先企業
既存共同研究プログラム	がん	全世界	研究	共同研究の進展 (マイルストーン)		アステラス製薬社
新規共同研究プログラム	未定	全世界	研究	新規契約獲得	新規契約獲得	提携先企業
P2X7受容体拮抗薬	未定	全世界	(非開示)	開発計画の再検討 & 開発再開		旭化成ファーマ社 Lilly社

想定される進捗イベントの内容や時期は、現在における見込み、予測およびリスクを伴う当社独自の想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

イノベーションの力で、いのちに陽をもたらす



RaQualia
innovators for life

ラクオリア創薬株式会社